

僕だけが
イケない街



もうあれから十五年も経つのね！
あつと言ったままに感じるわ。

この子が昏睡状態で発見された日
から私の時間は止まったままなの。

僕だけがイケない街

毎日悟の事を考えて生きてきたわ、
他の事は一切目入らなかつた。
頭の中はいつも悟の事ばかり！

私、母親として何一つ
してあげられてないんだべか。

友達みんな結婚、就職してゆく
のにこの子は十五年間ただ
眠っているだけの人生……



そんなことはありません。
佐知子さん。

賢也君：

悟がこれまで生きて来られたのは
十五年も一人で看病をしてきた
貴女がいればこそです。
それは誇りにして良いことですよ。
きつと彼も判ってくれます。

もう十分過ぎる程
頑張つて来たじゃない
ですか？

これからは、

僕も一緒に悟の世話を、
貴女を支えたいんです。
だから！



それは駄目っしょ
賢也君

年上をちよすんでないよ！
いくら悟の親友でもおだつなや。
(からかう)
(調子にのら)

ここまで頑張って来れたのは
あんたが手助けしてくれたからやし、
感謝してるだべさ。
でもそれとこれとは別だべ？



気持ちはおうれしいけど、
こつたらおぼさん相手にしよっと
いたましいべさ。
(もったいない)

わたしがもうちよべっと
着かったらねー

そうだわ！
イケメン弁護士なら
モチモチだべ、
悟に誰か良い娘を紹介して
貰えんだべか？

茶化さないでください！
僕は真剣に貴女の事を…！
悟の面倒を見られる様に頑張って
来たつもりです！
弁護士になったのも経済的に
二人の面倒を見れる様にと…！



しょうがない子だべ。
こんなおぼちやんに
はつちやきこいて！
(必死になる)

年増女が本気になる
とんだだけ恐ろしいか。
ちよべつと教えてやるべ。

ゴゴ..



チュルル！

チュッ！

チュウー！

ガバ



ちゅー

んんっ...！

ん...んぐ！

キエ

びんぎ



…?
?

んふっ!

ちゅちゅ

んふっ!

びびったべき？
年増はしつこいだべ。
本気にさせたら
おっかなかよ！

!!!

やっ！
賢也く！

しつこきなら僕も負けて
ませんよ！
こんな事で諦める訳には
いかないです！

ぐわし



あーもう、
わたしの
負けだべ。

ちよっミダメっしょ！
そんなわやくちやにしたら
痛いべ！
落ち着かんね賢也君！

嫌ですもう待てません！
佐和子さんが受け入れてくれないなら
力づくでも僕のモノにしたい！！
それだけ本気なんです！

僕の気持ち判ってください
佐和子さん！

判ったから
離すべさ！



え？

ツカな
はんかくさい子だべ。
友達の母親に熱を上げる
なんて、子供の頃から変わっ
て無いべさ。

離すべ！

離しません！
ちやんと僕を見て
ください！

あんたは小学生の頃から
わたしのこと好きだったんだべ？
悟の誕生会の写真でもこっちら
見とったべ。

そうです、あの日からです。
佐知子さんを女性として意識し始めたのは、
親友の母親にこんな感情を抱く後ろめたさに
悩み戸惑いました。
そんな時に悟が……

その決意は十五年経った
今でも変わりません。
僕は貴女を愛して……

目覚めぬ悟を一人看護する
貴女を見て決心したんです。
貴女を一生支えようと……

うわっ、
デカっ！

てっ……
聞いてますか佐知子さん！

その十五年分の想いが
ここに溜まっているって
ことだべ。
ズツシリ重たいべさ！

こんなの溜め込んでたら
体に悪いべさ。

辛い思いさせちゃったべ、
おぼさんの責任だわさ。
思い切り吐き出してスツキリ
すれば考えも変わるっしょ。

賢也君も
こういうの嫌い
じやなかんべ？

ああっ……！
さ、佐知子さんいきなり
そんな……！

ただをねる
ごんぼほる子供みたいと
思ったけど、
こんな立派なモノ
賢也君もすっかり
大人の男なんだべ。

男の子だもんね、
悟もナンホ極めて欲しい
だべさ。

悟も起きていたらほ
誰かとこんな事して
いたんだべか？

佐知子さん
そんな娘まで
アアッ！
か、感激です！
こんなの初めてです。

ウッ！

オオッ！

あら以外？

買也君って
余り経験無いん
だべか？

ならこんなの
如何だべ

フオオオオオツ！

ズキユル
ズキユル
ズキユル

オオオオオツ……！！

あゝ熱い！
佐知子さんの中
とろける様に
熱い！

アアツ！

何か楽しくなって
来たべさ。

効いてる効いてる、
わたしのフェラチク
満更でもなかんべさ。

んぐっ……
んぐっ……
ンゴ！





あれだけ出して
まだピンピンだべさ。

なまら濃い精液だわ。
喉に詰まる処
だったべさ。
本当に十五年分
溜まっていたべか？

すっすいません！

げふっ！



悟の見てない
部屋いくべい

これじゃ
賢也君
まだ満足
してない
べさ？

そんなシロジロ見ないでよ、
恥ずかしいだべ。

年増女のだからしない体で
かっかりしたべさ？

い、い、え……
綺麗ですよ、
佐知子さんの体……
見とれてしまいます。

そんな、
本心ですよ！

嘘でもうれしいべさ。

賢也君は子供の頃から
口が達者だったべ、
それで弁護士になったん
じゃないんだべさ？

佐知子さんは
僕のことそんな
風に見てたん
ですか？

なんて冗談だべ、
本当立派な大人に
なったべさ。

ムムム

何だべ、
このこちよばゆい
感じ懐かしいべさ。

ココもすいぶん
立派に成長して
いるべ？

何か忘れていた物を
思い出した時の様な
感じだべ。



佐知子さん好きです。

愛しています。

あつ、
ああん！

女として求められる
喜びに体が火照る。

ずっと、
ずっと想っていました
貴女だけを！

くすぐるような
年下男の甘い囁きが
耳に心地好い。

背後から
突き付けられる
熱くたぎる雄の欲情
が愛おしい。

貴女が欲しい。
貴女のすべてが！

あん！



弁護士先生、
女をその気にさせるには
言葉だけじゃ駄目だべさ。

もっと強引に
男の本気を見せねば
伝わらんべ？

こうですか！

どうです僕の男として
本気を認めてくれますか？

賢也君：

この十五年間
ひたすら悟の看病に
明け暮れ疲弊してゆく
貴女を見るのが
辛かった。

僕の力で何とか貴女を
救いたかった。
時間が掛かりましたが
やっとその時が来た！

貴女を女に、

佐知子を
僕の女にします！

アハ

アハハ

アハハ



ん、
アッ!

アッ!



もさっと
ゆっくり動いてや
アッ!

ひっ!
久しぶり
だべ...

ちよつ、賢也！
そんなけつはらんと、
（おんぼろ）
落ち着くだべ！

激しく腰を振り立て
思いの丈をぶつける
若雄の獣欲に
体の奥から揺さ振られる

突き込まれる熱い塊が
模様の侵入に刺さり
雄の侵入に歓喜する

彼の気持ちに応えたい、
この雄の獣欲を受け止めたい、
わたしの雄欲が熱く疼いて
どうしようもない……

ごめんね、
今だけは女に……
彼の女になるへさ……

ハッ……！
ハッ……！

IRU! IRU!

もっ……
もっ……
ケンヤ!



佐知子……

呼び捨てで良いよさ、
ケンヤの女にして
くれるんだべ……

はあ……

もちろんです、
さ、佐知子はもう
僕のモノですよ

はあ

ああっやっつと
貴女が僕の手の
中に……

心地よい
温もり、この匂い、
全てが想像していた
通りだ……佐知子……



自らのモノになった事を
確かめる様に体中を
揉みしだく大きい手

強くたくましい腕に
抱き締められ
雄の体臭に包まれ
女の私奥が喜びの鳴咽を
上げる

アアッ……

アアツッ：
いいっ！

ケンヤ、そーもっ！

アア！

イイ！

ズ
ズ
ズ

イイ処当たって
るへさ、
ケンヤのチカチン！

佐知子のもイイよ
ヌルヌル絡み付い
て堪らないよ。
ほら、もっ！可愛い声
聞かせてよ。

そんな恥ずかしいへさ、
年上をちよすもな！
(からかう)

(めちやくちや
わやくちや
感じるへさ！)

アアツ駄目だべ、
腹肉撫んじや！アーン！
そこは持つ所じゃ
無いへさ！

ズ
ズ

感じ過ぎて
全身汗でべちやべちや
だべさ！

アアツッ！

これ以上は
ほんすけないへさ！

聞こえるか悟？

悟、判るか？
彼女はまたこんなに女
なんだぞ！

アア！

アアン！

女を捨て十五年間
ただひたすら
母であらうとしても
体は忘れていないんだ！
愛される女の喜びを……

目を覚ませ悟！
彼女が大切なら起きて
母親と言う重責から
佐知子を開放してやってくれ！

佐知子の人生を
取り戻させてくれ……

たのむ、悟！

アアン！

え？
何？

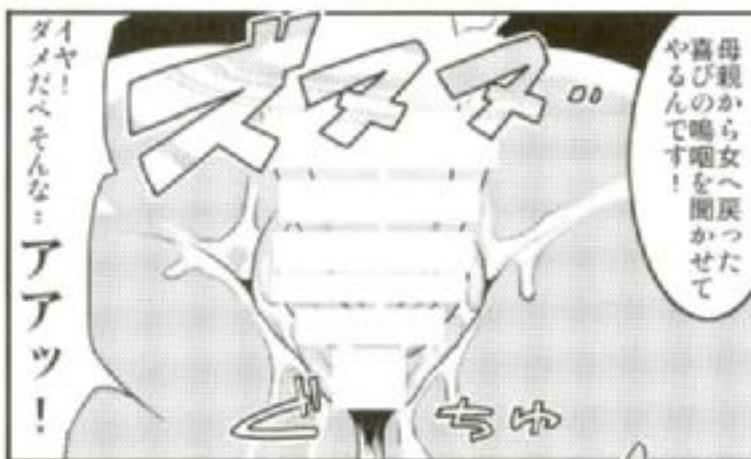
何処行くの
ケンヤ？



彼にも聞かせるんですよ。貴女の声を！



駄目だべさ、そっちは悟の部屋しよ。



イヤ！ダメだべそんな：アアツ！

ズナナ

母親から女へ戻った喜びの嗚咽を聞かせてやるんです！



判ってますだから来たんです。

ケンヤ！あんた何をする気なん



それで良いんです。聞かせてやるんです！貴女の喘ぎ声で悟を目覚めさせてください！

ほら、もっと大きな声を出して！女の本気のイキ声を聞かせてください

ヤダメよダメだべ！さ悟に聞かれてしまふべさ！

そんなの酷いべ！母親失格だべさ！

ギン

な、何言ってるんさ、
そんな事出来る訳な...

悟!

喘ぎ鳴くメス声で
雄の性欲を自覚め
させるんです

オオオ!

オオオ!

アアッ!
イヤッ!
こんな声聞かれたら
悟にほれちやうべさ。
女の顔を見られちやう
だわ!

さあ、速慮しないで
早く悟に聞かせて
あげてください!

オオオ!

ケンヤの馬鹿!
馬鹿、バカー!

それが狙いです。
一気にイカせるぞ、
佐知子!

甘く見てたべ、
こんな簡単に
ない様にされる
なんて……

悟の為にイイ母で
在ろうと女を捨てて
頭張って来たのに
もう駄目だわ、
この子の顔まともに
見れないべき……

なしてこんなにカラダが
感じるんだべ？
頭の中わやくちやだわ！
このまま母親なんて辞めて
堕ちて往けたら……

女に戻れたら
どんなに楽だべさ……

もう駄目
イっちゃう……

ごめんね悟

聞こえる悟？
これがわたしの本性
女の顔した藤沼佐知子
あなたの母親だべ……

アアツ!
オオオオオツ!

ビッガー!

ン……
グッ!





それでも無い様です。見て下さい。悟の股間の膨らみ。

悟を覚醒させる為に男の本能を刺激したんです。

はあ

んんん

さっきはびびったべさ。なしてあんなこと？

はんかくきいわ、ケンヤらしくないだべ。



したっけ、それはケンヤのコレのおかけだわ。わたし一人じゃ出来ないことだべさ。

悟の為にこれからも協力して貰えるだべ？

キヤ



さー悟が！勃起った！

悟には聞こえてるんですけど、貴女の声か！

佐知子の声に悟の男が反応したんです。悟も健全な成人男性なんですよ。



轟んで！

ケンヤ愛してるべさ！

僕だけがイケない街 発行 我楽多屋
2016/05/01 猫御飯
garakutaya0@gmail.com
印刷 (有)ねこのしっぽ 様

GARAKUTA-YA

僕だけがイケない街